

(イ) 塗布の場合

作物名 (対象 場所)	対象雑草名	濃度 (希釈倍 率)	10a当 塗布量	散布時期	使用法
水田 畦畔 農道	一年生雑草およびチガヤ、ヨシ、ススキ、ヨモギ、ギシギシなどの多年生雑草	3～6倍	3～6ℓ	雑草生育盛期～開花期、および生育終期（草丈15～150cm）	1.塗布器により対象雑草の葉面を1～2回まで葉液を附着させる。

(3) 指導上の留意点

- 1) 作物に附着しないよう飛散防止用ノズルやカバーを使用すること。
- 2) 雑草の草種に合わせ薬液がたれ落ちない濃度と散布量とする。又他剤と混用しない。
- 3) 畦畔のノリ面で使用すると崩壊しやすくなる。カメムシ類防除には刈取り除去する。
- 4) 効果の発現までに7～10日要し、スギナやクローバー類には効果が劣る。

(4) 当該事項にかかる試験研究課題名

素材技術の開発 (1)雑草防除法

9 水稻の簡易栄養診断

早生品種の期待生育相の策定およびカラスケールの使用について

(農試環境部・県南分場)

昭和58年度農業改良技術指導指針その1（水稻・畑作）P 41～44 参照

10 玄米貯蔵中における着色米関与菌の動向

昭和58年度農業改良技術指導指針その1（水稻・畑作）P 44～46 参照

11 新害虫イネミズゾウムシの発生経過と防除対策

昭和58年度農業改良技術指導指針その1（水稻・畑作）P 52～54 参照